

2019年度の事業概要

1. プロジェクト実施に必要なコンサルティングおよび支援活動

① 技術アドバイス、コーディネート活動の充実

IoT化、AI導入、高機能新素材、ライフサイエンス、自治体の街づくり事業の事業分野を中心に北陸の優れた最先端技術でイノベーションを生み出し、新たなビジネスチャンスを作り上げる事業について、コーディネータによるアドバイスや企業・大学等の技術シーズのマッチング等の支援活動を実施する。

② 北陸ライフサイエンスクラスターの形成事業

「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター事業（2017年度末終了）」の成果を継承しつつ事業化を推進する。

③ 東京大学との連携を軸とした支援事業

2018年度経済産業省地域中核企業創出・支援事業「北陸地域における工作機械を中心とした先端ものづくり産業の国際競争力強化事業の創出」で得られた成果をもとに、2018年12月に承認された「北陸地域における工作機械産業を中心とした産業高度化連携支援計画」を遂行する。実行にあたり、連携協定先の東京大学と協議し、北陸三県の支援機関を中心としたネットワークを活用した地域の企業のIoT化、AI導入の支援を強化する。

④ 国等の事業への支援

北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援等の支援を実施する。

2. 国等の委託・補助事業

① 文部科学省関連事業

2020年度「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決」への応募に向けた準備を進める。

② 経済産業省関連事業

地域中核企業ローカルイノベーション支援事業「工作機械産業におけるCPS(Cyber Physical System)導入による競争力強化」を実施する。

3. 普及啓発活動

① 技術シーズ（研究成果）発表会等の開催

② 講演会・セミナー・施設見学会等の開催

③ 会報誌の発行

④ ホームページ等による各種情報の発信

北陸産業活性化フォーラム

開催報告

開催日： 2018年11月30日（金）

開催場所： 金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター [ICC] （白山市八束穂）

主催： 一般財団法人北陸産業活性化センター

共催： NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会 ほくりく環境バイオマス研究会
北陸マイクロナノプロセス研究会 ほくりく先端複合材研究会 北陸経済連合会

参加人数： 62名

内 容：

<第I部 基調講演>

「ここまで来た!! 炭素繊維複合材料の応用技術 そして次なる展開は?!!」

金沢工業大学大学院工学研究科 教授/革新複合材料研究開発センター[ICC] 所長
ほくりく先端複合材研究会 会長 鶴澤 潔 氏

[概要]

- ◆ 革新複合材研究開発センターでは、材料の研究を材料の範囲に留めず、どうやって実際ものを作っていくのか、使ってもらうためにはどうやって作っていくかという適応研究・利用技術にも少し踏み込んだ活動をしている。
- ◆ 炭素繊維は日本のお家芸だが、欧米や中国の消費が大きく伸びているのに対し、日本はさほど伸びていない。しかし、糸の生産では日本の3社で世界のほぼ7割を牛耳っており、この5年間で売り上げを3割伸ばしているが、それ以外の国内メーカーは伸びていない。また、日本は糸という素材を使ったFRPというもののづくりでは出遅れていることから、我々は適用技術に関しても取り組んでいる。
- ◆ FRPは、軽い、強い、錆びない、施工性があるという特長を活かし、船舶や航空機、自動車、風力発電の風車、上下水道・海洋石油プラントのパイプ、意匠性の高い構造物の実現、建築用外壁材、コンクリート補強筋など、各分野で新たな用途に適用されている。

<第II部 新複合材料研究開発センター[ICC] の施設見学>

産学官連携による複合材料の事業・社会実装につなげる場として、2018年3月に新たに整備された、「複合材料の高速・連続製造プロセス開発による革新複合材料実証開発拠点」と既存の「大型製造装置・成形・試験評価ゾーン」「分析・プロジェクトゾーン」「化学実験・研究ラボゾーン」を見学しました。



革新複合材料研究開発センター

第5回サステナブルテクノロジーセミナー

開催報告

「バイオリファイナリーが拓く次世代社会～化石資源を消費しないクリーンでサステナブルな材料の世界～」

開催日： 2019年1月28日（月）

開催場所： ホテル金沢 4階 エメラルド （金沢市堀川新町）

主催： 一般財団法人北陸産業活性化センター

参加人数： 45名

内 容：

再生可能なバイオマスから燃料や化成品原料を得ようとするバイオリファイナリーをテーマに、専門家の方に講演をいただきました。

<基調講演>

「バイオマスからの化学品製造の現状と今後の展望」

NEDO技術戦略研究センター（TSC） 環境・化学ユニット 加藤 知彦 氏



<事例紹介>

「バイオマスナノファイバー「BiNfi-s」とその製造法について」

株式会社スギノマシン 新規開発部開発プロジェクトグループ長 大坪 雅之 氏



<研究紹介>

「イオン液体を触媒として用いたバイオリファイナリー」

金沢大学 理工研究域 生命理工学系 教授（リサーチプロフェッサー） 兼
金沢工業大学COI研究推進機構研究推進グループリーダー 高橋 憲司 氏



「バイオマスからバイオフィナリーの実現に向けた機能性糸状菌の開発」

富山大学 大学院理工学研究部 ナノ・新機能材料学域
機能性分子創生変換システム学系 教授 星野 一宏 氏



「バイオ電池の現状と展開－持続可能な社会を目指して－」

福井大学 学術研究院 工学系部門
繊維先端工学講座 教授 末 伸一朗 氏



「アミノ酸リファイナリーによる高性能サステナブルプラスチックの開発」

北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス系
環境・エネルギー領域 教授 金子 達雄 氏



<交流会>

講演者を交えて、意見交換や名刺交換を行いました。

産業技術総合研究所 イノベーションシーズ講演会～高機能軽量金属技術～

開催報告

開催日： 2019年3月1日（金）

開催場所： 富山県民会館 7階 701号室 （富山市新総曲輪）

主催： 一般財団法人 北陸産業活性化センター

共催： 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

後援： 経済産業省中部経済産業局 北陸経済連合会

参加人数： 44名

内 容：

➢ 「マグネシウム合金の腐食と評価」

産業技術総合研究所 構造材料研究部門 軽量金属設計グループ
主任研究員 中津川 勲 氏



➢ 「有機ケイ素系ポリマーの活用によるセラミック-アルミニウム接合技術」

産業技術総合研究所 構造材料研究部門 セラミック機構部材グループ
主任研究員 北 憲一郎 氏



➤ 「異種材接合の特性評価と接合メカニズム」

産業技術総合研究所 ナノ材料研究部門 接着・界面現象研究ラボ

上級主任研究員 堀内 伸 氏



➤ 「マルチマテリアル製造インテリジェンス～次世代構造部材の破壊予兆・CAE 高度化を拓く
応力発光～」

産業技術総合研究所 製造技術研究部門 トリリオンセンサ研究グループ

グループ長 寺崎 正 氏



➤ 経済産業省 施策説明：平成 31 年度 経済産業省関連施策の概要について
中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局 地域経済課

➤ 名刺交換・個別相談

平成 30 年度北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会

開催報告

開催日： 2019 年 3 月 18 日 (月)

開催場所： IT ビジネスプラザ武蔵 6 階 交流室 1 (金沢市武蔵町)

参加人数： 35 名

内 容：

平成 25 年度から平成 29 年度まで取り組んだ文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」について、事業終了後も北陸ライフサイエンスクラスターで構築されたネットワークの継続、北陸地域のライフサイエンス産業の更なる発展に向けて、「北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会」は、継続して活動しています。

<開会挨拶>

北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会 会長 久和 進

<2018 年度活動報告及び 2019 年度活動計画>

事務局より 2018 年度の活動報告及び 2019 年度の活動計画 (案) について説明しました。

<北陸ライフサイエンスクラスター事業等の取組み事例報告>

(1) 講演：「健康寿命の延伸に寄与する中医体質理論の大いなる可能性」

金沢大学大学院医薬保健学総合研究部門

臨床研究開発補完代替医療学講座

中国医師 特任助教 許 鳳浩 氏



(2) 講演：「平成 30 年度の取組みと今後の研究展開について」

金沢医科大学研究推進センター

研究推進センター長 教授 加藤 伸郎 氏

主任産学推進コーディネータ 高田 律子 氏



(3) 活動報告

- ・富山県 商工労働部
- ・石川県 商工労働部
- ・福井県 産業労働部
- ・一般財団法人北陸産業活性化センター

<経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局からの説明>

平成 31 年度経済産業省予算及び北陸支局の取組

経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 支局長 藤井 法夫 氏

IoT, AI 相談窓口の情報交換会

開催報告

開催日: 2019年5月30日(木)

開催場所: 石川県工業試験場 2階 第一会議室 (金沢市鞍月)

参加人数: 北陸3県担当者・中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局・事務局 14名

内 容:

北陸3県のAI、IoTの支援状況や施策等について各県から報告いただき、意見交換を行いました。

その後、いしかわAI・IoT技術支援工房を見学しました。

平成30年度経済産業省事業について

報告

地域中核企業創出・支援事業(ネットワーク型)「北陸地域における先端ものづくり産業の国際競争力強化事業の創出」が採択され、北陸の工作機械メーカーを中心に3県、業界団体、公設試、大学の実務レベルによる研究会を立ち上げ、IoT化、AI活用に向け、事例を中心に現場に根ざした視点で検討を実施しました。

- ・セミナーを2回開催
- ・研究会を5回開催
- ・「課題解決のためのIoT・AI活用ガイド」を作成

[参考] 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

<https://www.chubu.meti.go.jp/e21shinsangyo/190403/guide.html>

- ・北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援体制の構築

令和元年度経済産業省事業の受託について

報告

地域中核企業ローカルイノベーション支援事業「工作機械産業におけるCPS(Cyber Physical System)導入による競争力強化」を受託しました。

[参考] 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

https://www.chubu.meti.go.jp/e21shinsangyo/190515/2019chuukaku_saitaku.html

平岡結納舗による水引細工の技術を活かした新製品開発にあたり、試作品のラインが中に引きこまれるのを防ぐ端面処理についての相談が当財団に寄せられました。この依頼に、端面処理に金属を用いて高級感を演出すること、チタンは生体親和性が高いためアレルギー等の問題が起きにくく、身に着ける製品用途に最適と思われることを提案し、チタンクリエーター福井を紹介しました。この度、両社のコラボレーションによって、平岡結納舗の新製品、ツエーゲン金沢公式グッズのミサンガが完成しました。8月31日に発売開始の予定です。



第 25 回理事会

開催報告

開催日: 2019年3月12日(火)
開催場所: ホテル日航金沢 5階 梅・橋の間 (金沢市本町)
参加人数: 理事7名、監事1名ほか事務局

内 容:

議決事項

- ①第1号議案 「2019年度 事業計画書(案)」について
- ②第2号議案 「2019年度 収支予算(案)」について
- ③第3号議案 「第22回評議員会の開催(案)」について
- ④第4号議案 「費用弁償規程」の見直し(案)について
- ⑤第5号議案 「委員会委員等に対する謝金等支払基準」の見直し(案)について

第 22 回評議員会

開催報告

開催日: 2019年3月27日(水)
開催場所: ホテル日航金沢 5階 梅・橋の間 (金沢市町本町)
参加人数: 評議員6名ほか事務局

内 容:

議決事項

- ① 第1号議案 「2019年度 事業計画書(案)」について
- ② 第2号議案 「2019年度 収支予算(案)」について
- ③ 第3号議案 「費用弁償規程」の見直し(案)について
- ④ 第4号議案 「委員会委員等に対する謝金等支払基準」の見直し(案)について

第26回理事会

開催報告

開催日： 2019年6月6日（木）

開催場所： ホテル金沢 2階 扇の間 （金沢市堀川新町）

参加人数： 理事7名、監事1名ほか事務局

内 容：

議決事項

- ①第1号議案「平成30年度 事業報告書(案)」について
- ②第2号議案「平成30年度 財務諸表(案)及び監査報告書」について
- ③第3号議案「2019年度事業計画書の一部変更(案)」について
- ④第4号議案「2019年度収支補正予算(案)」について
- ⑤第5号議案「理事候補者及び監事候補者の選任(案)」について
- ⑥第6号議案「第23回評議員会の開催(案)」について
- ⑦第7号議案「賛助会員の加入(案)」について

第23回評議員会

開催報告

開催日： 2019年6月28日（金）

開催場所： ホテル金沢 6階 ミーティングルーム （金沢市堀川新町）

参加人数： 評議員7名ほか事務局

内 容：

議決事項

- ①第1号議案「平成30年度 財務諸表(案)及び監査報告書」について
- ②第2号議案「2019年度事業計画書の一部変更(案)」について
- ③第3号議案「2019年度収支補正予算(案)」について
- ④第4号議案「評議員及び理事・監事の選任(案)」について

第27回理事会〈書面開催〉

開催報告

開催日： 2019年6月28日（金）

参加人数： 理事8名・監事2名による書面

内 容：

議決事項

- ①代表理事1名選定の件
- ②専務理事1名選定の件
- ③常務理事兼事務局長1名選定の件

開催日：2019年7月11日（木）

開催場所：航空会館（東京都港区新橋）

参加人数：26名

内容：2018年度活動実績・収支決算や2019年度活動計画・収支予算、各機関が抱えている課題等について意見交換を行いました。

主な行事予定

行事名	開催日	開催場所
北陸技術交流テクノフェア	2019年10月23日（木）・24日（金）	福井市
Matching HUB Kanazawa	2019年11月11日（月）・12日（火）	金沢市
イノベーションシーズ講演会	2019年11月12日（火）	金沢市
北陸産業活性化フォーラム	2019年10月（予定）	能美市
第6回サステナブルテクノロジーセミナー	2019年12月（予定）	金沢市

新役員のご紹介

お知らせ

<新任役員>

評議員	株式会社熊谷組	常務執行役員北陸支店長	岸 研司 氏
評議員	株式会社セーレン	取締役執行役員 研究センター長	山田 英幸 氏
評議員	株式会社福井銀行	取締役兼常務執行役	長谷川 英一 氏
評議員	株式会社日本政策投資銀行	北陸支店長	板橋 史明 氏
監事	北陸発電工事株式会社	代表取締役社長	西野 彰純 氏
常務理事	一般財団法人北陸産業活性化センター		福井 聡

<退任役員>

評議員	株式会社福光屋	常務取締役	松井 圭三 氏
評議員	株式会社セーレン	代表取締役 兼 副社長執行役員	野村 正和 氏
評議員	株式会社福井銀行	取締役兼代表執行役専務	朝倉 真博 氏
評議員	株式会社日本政策投資銀行	北陸支店長	鈴木 博竹 氏
監事	加賀製紙株式会社	代表取締役社長	中島 秀雄 氏
常務理事	一般財団法人北陸産業活性化センター		三瀬 隆

これまで当財団の運営にご尽力・ご協力を賜り、ありがとうございました。

株式会社ケーブルテレビ富山

- [代表者] 代表取締役社長 赤丸 準一
- [住所] 富山市桜橋通り 3-1
- [設立] 1994年4月
- [資本金] 20億1,060万円
- [従業員数] 107名
- [事業内容] 放送法に基づく一般放送事業
電気通信事業法に基づく電気通信事業
- [URL] <https://ctt.ne.jp>



本社がある富山電気ビル

[当社について]

富山市を主な営業エリアとするケーブルテレビ事業者です。1994年4月に富山県、富山市をはじめとする自治体と地元経済界が中心となり、企画会社（富山ケーブルテレビ企画株式会社、資本金2,000万円、株主20名）を設立しました。同年10月に商号を株式会社ケーブルテレビ富山に変更しました。

1995年2月に当時の郵政大臣から有線テレビジョン放送施設設置許可状の交付を受け、1996年4月に開局、本放送を開始しました。その後、2000年にケーブルインターネット接続サービス、2010年には、ケーブルプラス電話サービスを開始しました。

2014年5月にFTTH（Fiber To The Home）サービスであるミタスト光を、2015年3月には、格安なケーブルスマホサービス及び「TOYAMA Free Wi-Fi」の提供を開始しています。

当社は、「地域に輝きと感動を」を企業理念とし、地域になくしてはならない総合情報メディアを目指しております。

北電技術コンサルタント株式会社

- [代表者] 代表取締役社長 河本 浩一
- [住所] 富山市牛島町 13-15
- [設立] 2001年7月
- [資本金] 5,000万円
- [従業員数] 150名
- [事業内容] 建設コンサルタント業、測量業、地質調査業、補償コンサルタント業、一級建築事務所
- [URL] <http://www.hg-c.co.jp>



特別養護老人ホーム 大江苑（当社設計・監理）

[当社について]

1974年に北陸電力グループ会社の土木・建築部門として活動を開始しました。

以来、北陸電力関連業務で培った技術と信頼をもとに、土木・建築分野の調査、測量、設計及び工事監理を行う総合コンサルタントとして、ダムや発電所、河川・砂防、道路・橋梁、下水道などのインフラ整備に貢献して参りました。

2001年に「北電技術コンサルタント」として独立しました。

自治体等の小水力発電や携帯電話基地局の設計・監理にも進出し、福祉介護施設をはじめとした民間建築物にも積極的に取り組んでいます。

高度情報化、環境保全といった課題に迅速な対応が求められる今、高い技術力と提案力でお客さまニーズのその先へ、感動していただけるサービスをお届けします。

北電テクノサービス株式会社

[代表者] 代表取締役社長 園 博昭

[住所] 富山市牛島町 13-15

[設立] 1982年4月

[資本金] 5,000万円

[従業員数] 348名

- [事業内容]
1. 発電、送電、変電、通信、給電設備および消防設備の保守ならびに工事
 2. 前号各設備の調査、設計および施工管理
 3. 自家用電気工作物設置者等の委託を受けて行う電気工作物の工事、維持および運用に関する保安の監督に係る業務
 4. 産業廃棄物処理事業

[URL] <http://www.hts.co.jp>

[当社について]

1982年の創業以来、北陸電力グループの水力発電設備、変電設備、通信設備の保守工事を業務の主体とし、「電力の安定供給」の一翼を担うべく社業の発展に努めてまいりました。また、電力設備における長年の経験と幅広い技術力を生かし、産業用の受変電設備の保守工事においても「信頼される技術で地域に貢献」できるように、日夜努力を重ねております。

当社を取り巻く環境は、益々困難さを増していくと予想されますが、「設備総合保守エンジニアリング会社」としての人材の育成、技術力の向上に全力を尽くし、北陸地域の「電力の安定供給」に貢献していく所存でございます。なにとぞ、一層のご支援と、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



電力設備の保守・メンテナンス

北電情報システムサービス株式会社

[代表者] 代表取締役社長 西野 克彦

[住所] 富山市桜橋通り 3-1

[設立] 1987年4月

[資本金] 5,000万円

[従業員数] 325名

[URL] <https://www.hiss.co.jp/>

- [事業内容] システムの構築と保守・運用、及び機器販売、データセンターサービス（クラウド、ハウジング）、インターネットサービス、セキュリティサービス、その他

[当社について]

高度情報化社会に貢献する総合情報サービス企業として、北陸電力グループ、さらに地域への情報サービスの提供を目的に誕生しました。

北陸電力グループの情報戦略の中核部門を担うとともに、これまでのノウハウを基礎に、北陸地域からさらに全国展開へと、その領域拡大をめざしています。人間性 [Humanity] の尊重の理念を基盤に常に技術革新 [Innovation] と新知識の導入をはかり信頼性と情報管理の安全性 [Sincerity&Security] をモットーにお客さまに満足 [Satisfaction] 頂ける知的サービスを提供します。



本店外観

北陸通信ネットワーク株式会社

[代表者] 代表取締役社長 松島 英章

[住所] 金沢市西念1-1-3
コンフィデンス金沢

[設立] 1993年5月

[資本金] 60億円

[従業員数] 169名

[URL] <http://www.htnet.co.jp>

[事業内容] ・電気通信事業法に基づく電気通信事業
・電気通信設備、電気設備およびこれに付帯する設備の工事ならびに保守
・電気通信および情報処理に関する機器ならびにソフトウェアの開発、製作、販売および賃貸
・前各号に関連するコンサルティング
・前各号に付帯または関連する一切の事業

[当社について]

1993年に北陸電カグループの情報通信(ICT)企業として誕生しました。北陸3県を経営基盤として、お客様から顔が見える身近なICT企業として、お客様と共に成長してきました。

当社のサービスは、自治体をはじめ、学校・病院といった公共機関、銀行・証券といった金融機関、各種製造業など幅広いお客様に利用されています。北陸地域に自社構築の光ファイバーを基盤として、高速・高品質なネットワークはもちろん、付加価値の高い様々なサービスを提供し、お客様にとって最適な通信環境を実現しています。私たちが提供する目には見えない“ヒカリ”サービスをお客様が体感できる「価値あるカタチ」に変えて新しい未来を創造していきます。



本社(石川県金沢市)



24時間365日体制で
ネットワークを監視・保守

北陸計器工業株式会社

[代表者] 代表取締役社長 柳森 幹男

[設立] 1970年9月

[所在地] 石川県野々市市高橋町18-1

[資本金] 3,000万円

[従業員] 123名

[URL] <https://www.hokuriku-keikou.co.jp>

[事業内容] 電力量計等の製造、スマートメーターのセットアップ、配電自動化用遠方制御機器の製造、配電機材のリサイクル、電力量計等工事の設計・施工、電気計測器の校正試験、LED照明機器の販売、雷対策コンサルティングの実施及び対策機器の販売

[当社について]

1970年9月の創業以来、電力量計や計器用変成器の修理、製造、工事のほか、配電自動化システム制御機器の製造、計測器の校正試験、配電設備の諸測定、配電機材のリサイクルなどを通して、電力の安定供給と電気事業の発展に貢献してまいりました。

近年は、電気事業の環境変化に対応すべく、高度な次世代型電力量計であるスマートメーターの関連事業への取り組みを着実に進めるとともに、一般のお客さま向けの電力量計、LED照明機器、雷対策機器の販売など事業拡大にも積極的に取り組んでおります。

今後も、従業員一丸となって「北陸計工ブランド」を作り上げ、「暮らし」と「電気」の間で必要とされ、信頼される企業であり続けることを目指してまいります。



本社社屋

北陸産業活性化センターの概要

沿革	昭和 62 年 11 月 25 日設立 平成 23 年 4 月 1 日 公益法人制度改革に基づき一般財団法人へ移行
所在地	金沢市片町二丁目 2-15 北国ビルディング 2 階
役員	会 長（代表理事） 久和 進 評議員 8 名 理 事 8 名 監 事 2 名
設立目的	北陸地域における産業の高度化及び新産業の創出等（以下「産業の活性化」という）に関する調査、研究、支援等を行うことにより、北陸地域の産業の活性化及び活力ある北陸地域経済の実現を図り、もって我が国経済の健全な発展に寄与することを目的とする。 1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究及び企画 2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトの実施に必要なコンサルティング及び支援 3. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成 4. 北陸地域の産業の活性化推進のための普及啓発 5. 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

本誌は一般財団法人北陸産業活性化センターの事業活動や関係企業様の情報等をお知らせする会報誌です。

※詳細は WEB サイトをご覧ください。

URL <http://www.hiac.or.jp>

